

基本プログラムの構成の雛形

【パターン A】講師の語りを中心としたプログラム

障害当事者ファシリテーターによる語り（座学）＋受講者自身が考えるグループディスカッション（障害当事者サポーターが参画）

時間	項目	手法	役割分担	内容	
5	1.導入 バリアフリーに対する認識の確認	問いかけ	当事者 F	バリアフリーに対する現状の認識を明確にする	
10	2.障害はどこにある？ 「障害の社会モデル」の理解	座学 問いかけ	当事者 F	障害の社会モデルを理解する	
15	3.困りごとや痛みに気付く（GD①） 職場等における「困りごと」を見つける	GD*	当事者 F、S	実情の中にある困りごとや痛みを見出し、認識する	
5	4.法律での位置付け	座学	当事者 F	コンプライアンス上における必要性を認識する	
20	5.困りごとや痛みに気付く（GD②） 「困りごと」を具体化して考える	GD*	当事者 F、S	自分の現状認識を確認する	認識に対して、当事者の実態を認識する
5	6.当事者が抱えている困りごと	動画の視聴	DVD	当事者から実態を聞く	
20	7.困りごとや痛みに気付く（GD③） 困りごとに対してあなたができること	GD*	当事者 F、S	困りごとや痛みに対してできることを理解する	
5	8.実際に行動するために	座学	当事者 F	自分が困りごとや痛みに対してできることを考える	
5	4.本日のまとめ	座学	当事者 F	まとめとして学んだことの理解を促す	
90	total				

*GD（グループディスカッション）には障害当事者サポーターが参画し、グループで行うワークのファシリテーションを行うとともに、受講者との対話を通じて、気づきを促す。

【パターン B】 体感から獲得した視点を持って、座学で認識を深めるプログラム

ゲームを通じて気付きを与えるワークショップ+ 障害当事者ファシリテーターによる語り（座学） + 受講者自身が考えるグループディスカッション（障害当事者サポーターが参画）

時間	項目	手法	役割分担	内容
50	1.社会の中にある不均衡の体感 (WS)	WS	当事者 F* ¹	ゲーム型のワークショップにより、社会の不均衡を体感する
5	2.座学導入 バリアフリーに対する認識の確認	問いかけ	当事者 F	バリアフリーに対する現状の認識を明確にする
10	3.障害はどこにある？ 「障害の社会モデル」の理解	座学 問いかけ	当事者 F	障害の社会モデルを理解する
15	3.困りごとや痛みに気付く (GD①) 職場等における「困りごと」を見つける	GD* ²	当事者 F、S	実情の中にある困りごとや痛みを見出し、認識する
5	4.法律での位置付け	座学	当事者 F	コンプライアンス上における必要性を認識する
5	6.当事者が抱えている困りごと	動画の 視聴	DVD	当事者の実態を認識する
20	7.困りごとや痛みに気付く (GD②) 困りごとに対してあなたができること	GD*	当事者 F、S	困りごとや痛みに対してできることを理解する
5	8.実際に行動するために	座学	当事者 F	自分が困りごとや痛みに対してできることを考える
5	4.本日のまとめ	座学	当事者 F	まとめとして学んだこと の理解を促す
120	total			

* 1 : ワークショップのファシリテーターは、障害当事者であることが望ましいが、DVDを活用し、モデレーターによる進行も可能である。

* 2 : GD (グループディスカッション) には障害当事者サポーターが参画し、グループで行うワークのファシリテーションを行うとともに、受講者との対話を通じて、気付きを促す。

【パターン C】 障害当事者ファシリテーターが確保できない場合のプログラム

障害当事者ファシリテーターによる語りを DVD 等で提示（座学）＋受講者自身が考えるグループディスカッション（障害当事者サポーターが参画）

時間	項目	手法	役割分担	内容	
5	1.導入 バリアフリーに対する認識の確認	問いかけ	DVD	バリアフリーに対する現状の認識を明確にする	
10	2.障害はどこにある？ 「障害の社会モデル」の理解	座学 問いかけ	DVD	障害の社会モデルを理解する	
15	3.困りごとや痛みに気付く（GD①） 職場等における「困りごと」を見つける	GD*	モデレーター 当事者 S	実情の中にある困りごとや痛みを見出し、認識する	
5	4.法律での位置付け	座学	DVD	コンプライアンス上における必要性を認識する	
20	5.困りごとや痛みに気付く（GD②） 「困りごと」を具体化して考える	GD*	モデレーター 当事者 S	自分の現状認識を確認する	認識に対して、当事者の実態を認識する
5	6.当事者が抱えている困りごと	動画の視聴	DVD	当事者から実態を聞く	
20	7.困りごとや痛みに気付く（GD③） 困りごとに対してあなたができること	GD*	モデレーター 当事者 S	困りごとや痛みに対してできることを理解する	
5	8.実際に行動するために	座学	DVD	自分が困りごとや痛みに対してできることを考える	
5	4.本日のまとめ	座学	DVD	まとめとして学んだことの理解を促す	
90	total				

*GD（グループディスカッション）には障害当事者サポーターが参画し、グループで行うワークのファシリテーションを行うとともに、受講者との対話を通じて、気づきを促す。